

2009年10月19日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社
ソリューションパートナー事業本部
技術統括部 サポート第一グループ

MOS4.1.8- GA リリースのご案内

拝啓

貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度 MOS4.1.8-GA のリリースを弊社より開始させていただきます事をご案内申し上げます。

バージョンアップをご希望されるお客様は、下記内容をお読みの上インストールをご実施頂きます様、宜しく願い申し上げます。

敬具

- 記 -

■対象のお客様

Mirapoint 6シリーズハードウェアモデル(※1)をご使用中で、かつ次の何れかの条件を満たすお客様はバージョンアップが可能です。

- MOS4.0.x-GA、若しくはMOS4.1.x-GAで運用中のお客様
- 購入から一年以内、若しくは保守契約を締結されているお客様

(※1) 6シリーズハードウェアモデル

RG160, RG600, RG6000, M600, M6000, S6000

■MOS4.1.8-GAの新機能と変更点

<新機能>

MOS4.1.8-GAから新たに追加された機能はありません。
本リリースは、MOS4.1.7a-GAの修正版リリースとなります。

<主な変更/修正項目>

MOS4.1.8に於いて修正された主な項目は次の通りです。

1. メールログ

MOS4.1.7a-GAに於いて宛先数が複数あるメッセージの場合、”MTA.MESSAGE.QUEUED”ログが各々の宛先について正常に記録することが出来ませんでした。本バージョンで修正されました。

2. ドット付きユーザのGUIログイン

Ldap連携している環境に於いてldapエントリーがドット付きのアカウントである場合、GUIログインが出来ませんでした。本バージョンで修正されました。

3. NTP

MOS4.1.7a-GAまでのバージョンアップ過程に於いて、NTPサーバ情報(ntp list)が引き継がれない問題がありました。本バージョンで修正されました。

■MOS4.1.8-GA 既知の問題

MOS4.1.8-GAに於いて、次の問題が見つかっております。

1. AutoReply

- ・AutoReply機能をldap連携させた場合、ldap側に更新内容が反映されません
- ・BackupデータのSelective Restoreを実施した場合、個人設定が一部戻りません

2. フィルター

EnvelopeToを条件指定した場合、フィルターが機能しません。

3. Whitelist/Blacklistエクスポート(domain=any)

MOS4.1.8-GAへバージョンアップ後、WhitelistやBlacklistを使用している環境に於いてその内容を出力する為のコマンド(uceエクスポート)を実行した場合、(domain=any)のみ於いて一時的に正しく結果を得られなくなります。

```
CLI>uce exportexceptions (domain=any)  
NO Internal error (34:128)
```

この状態でGUIにてシステムコンフィグのエクスポートを実行すると、uceの設定がエクスポート結果に反映されません。バージョンアップ後は次のWorkaroundを必ず実施頂きます様お願いします。本作業を実施されておらず障害等による機器交換が発生した場合、お客様によるuceの再登録を実施頂く必要があります。

<Workaround>

MOS4.1.8-GAへバージョンアップ終了後、一旦適当な設定を登録/削除してください。

以後、正常にエクスポートが可能になります。

例)

```
CLI> uce addexception "(domain=any)" suspectlist 10.14.0.100
```

```
CLI> uce deleteexception "(domain=any)" suspectlist 10.14.0.100
```

4. システムログ

MOS4.1.xでAntiSpam機能を使用している場合、次の様なメッセージがシステムログに出力される場合があります。本来ログ表示されるべきでは無い内部ログが出力されておりますが、実際にはシステムには影響が無い内容の為、無視して頂いて問題ありません。

例)

```
Oct  6 18:21:09 rg160 1000305472      OLD.SYSTEM.LOG  2009 Apr  6 18:21:09
```

```
AS/AV Signature Edition (QID AGL00196, message ID
```

```
<200904060921.AGL00196@xxx.com>): SPAMSIGED: read failure:
```

```
Transport endpoint is not connected
```

```
Oct  6 18:21:37 rg160 1000305483      OLD.SYSTEM.LOG  2009 Apr  6 18:21:37
```

```
AS/AV Signature Edition (QID AGL00197, message ID
```

```
<20090406092134.CE4C642A0C@xxx.com>): SPAMSIGED: read failure: No
```

```
such file or directory
```

■MOSバージョンアップの前に

バージョンアップの実施に際して、次の点にご注意ください。

- 注1) バージョンアップ進行中は、システムを再起動しないでください。バージョンアップ終了後に自動的に再起動が実施されます。尚、バージョンダウンは出来ません。
- 注2) ブランディングを実施されている場合、事前に現在のブランディングファイルを取得しておき、バージョンアップ終了後に再適用してください。尚、古いMOSバージョンのブランディングは引継げない可能性があります。その場合は、お客様ご自身にてブランディングを再作成して頂く必要があります。

- 注3) クラスタシステムをバージョンアップする場合、クラスタを解除後(Standby 停止後)にバージョンアップを実施してください。
- 注4) スプールサーバをバージョンアップする場合、事前にシステムのフルバックアップを実施される事をお勧めします。RazorGate シリーズの場合は、システムコンフィグを事前にバックアップしてください。
- 注5) MOSバージョンアップを実施するには、Upgrades Allowed ライセンスが必要です。ご使用中のMirapoint にインストールされている事を事前にご確認ください。

```
CLI > license status
Upgrades Allowed
```

■MOS4.1.8-GA の入手先

メーカーFTP サイトからモジュールをダウンロードしてください。

ダウンロードしたモジュールは、バージョンアップ対象のMirapoint からアクセス可能なネットワーク上のanonymousFTP サーバ、若しくはHTTP サーバに一旦保存してください。

入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/R4_1_8_GA.mpu5

■MOS4.1.8-GA へのバージョンアップ方法

事前にサービスを停止し、必要に応じてBackupを実施した上で実行します。

① Mirapoint にadministratorでコマンドログイン

② update install コマンドを実行

<anonymousFTP サーバをご利用の場合>

```
CLI > update install ftp://ftp サーバのFQDN(/パス)/ファイル名
```

<HTTP サーバをご利用の場合>

```
CLI > update install http://http サーバのFQDN(/パス)/ファイル名
```

実行例)

②-1. update install コマンドを実行

```
CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/mirapoint/ R4_1_8_GA.mpu5
```

②-2. 上記コマンド実施後、次のメッセージが表示されますので「y」を入力

```
Some updates can automatically reboot the system. Continue? (y/n)
```

※インストール完了後、Mirapoint は自動的に再起動します

③ バージョン確認

再起動完了後、administratorにて再度コマンドログインしバージョンを確認します。

```
CLI > version (MOS4.1.8-GAと出力されればバージョンアップは完了です)
```

■Patch

MOS4.1.8-GAへバージョンアップ後、次のPatchの適用をお勧めします。適用は、MOSバージョンアップと同様にupdate installコマンドを用いて実行します。(バージョンアップ方法の項参照)

- D4_Adjust_SMTP_Params

smtp通信終了後、相手側MTAに対してQUIT コマンドを即発行するPatchです。

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/mert/D4_Adjust_SMTP_Params.mpu5)

※ 本Patch はupdate install 時にパッチ名の最後に下記のように下線オプションを指定する必要があります。

```
CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/D4\_Adjust\_SMTP\_Params.mpu5?timeQuit=120s&cacheSize=0
```

※ パッチ適用時は自動でsmtpが再起動します。

- E4_antivirus_DA

VirusCheckに於いて、passwordで保護された添付ファイルをスキャンした場合、デフォルト動作としてスキャンが失敗したとのメッセージが対象メールの本文に挿入されます。このメッセージ挿入を実施させない場合に本パッチを適用します。

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/E4_antivirus_DA.mpu5)

※ 本パッチはsmtpサービス稼動中に適用してください

(サービスを停止した状態で適用すると正しく反映されない場合があります)

※ パッチ適用に伴うサービス再起動は発生しません

尚、ご使用頂いているシステムに既に適用されているpatchによってはバージョンアップ後にupdate listコマンドの結果に表示されないものがあります。また、元々update listには表示されないpatchもありますので、ご不明な点は弊社窓口までお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口

日商エレクトロニクス株式会社

ソリューションパートナー事業本部

技術統括部 サポート第一グループ

e-mail: mp-tech@nissho-ele.co.jp

■改訂履歴

2009/10/19 初版

以上